OpenRTM-aist (C++) - バグ #846

CrobaPort::deactivateInterfaces で例外 ObjectNotActive が発生する

2009/08/03 19:00 - 匿名ユーザー

ステータス:	終了	**開始日:**	2009/08/03
優先度:	通常	**期日:**	
担当者:		**進捗率:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	0.00時間
対象バージョン:			

説明

- 現象
  registerProvider() にて別インスタンス名で同オブジェクトを登録した場合、deactivateInterfaces() で オブジェクトを deactivate をすると、例外 ObjectNotActive が発生する。
  以下に例を示す。

```
// CorbaPortMock は CorbaPort を継承した class
// deactivateInterfaces_public は、 deactivateInterfaces をコールしています。

MyService_impl* pImpl0
    = new MyService_impl();

CorbaPortMock* port0 = new CorbaPortMock("name of port");
bool ret;
ret = port0->registerProvider("registerProvider0", "Generic", *pImpl0);
ret = port0->registerProvider("registerProvider1", "Generic", *pImpl0);

port0->deactivateInterfaces_public();
```

- 原因
  上記の例の場合、deactivateInterfaces() の deactivate_object() で "registerProvider0" のオブジェクトを deactivate した後、"registerProvider1" のオブジェクトを deactivate するが、このオブジェクトは "registerProvider0" のときに既に deactivate されたため、例外 ObjectNotActive が発生する。
  処理は、例外 ObjectNotActive が発生した時点で終了してしまう。

履歴

#1 - 2009/08/05 17:41 - 匿名ユーザー

- 対策
  deactivate_object() の ObjectNotActive を catch するように処理を修正。

#2 - 2009/08/07 11:36 - 匿名ユーザー

- ステータス を 新規 から 解決 に変更

- 進捗率 を 0 から 100 に変更

#3 - 2010/01/08 17:24 - n-ando

- ステータス を 解決 から 終了 に変更